

(端裏書)

一 新九郎殿

五左衛門殿

九郎右衛門
新八郎

一

以別紙申入候、然者
近塩鰯一苞并一品

御贈之不淺致大慶候

併此度預御付届

右等之御配意三而ハ

近頃致迷惑いたしに付

毛頭如在無之候得共

其段申断已三郎殿

及辞退候處其後林

善太兵衛より持參候て

段々申談候間此余

彼是辞退及び候てハ

如何ニ付致受納

呉候も入御念儀添

存候、右御札早々旁

如此候、已上

卯月十九日